

知道 CHIDO-KAIHO 会報

77

編集 知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人 角田芳夫
発行日 平成22年10月1日
通巻 第77号
メール chidou@world.odn.ne.jp

目次	企画	H22会員の集い	2
	一高だより	学園祭 ほか	4
	レッツ・トーク	「文化の水戸」一信さんの夢	5
	同窓会・支部だより	バレーボール部創部70周年 ほか	6

会員の集いを開催します

期日 / 11月 6日(土)

会場 / 水戸京成ホテル

平成22年度(第60期)「知道会会員の集い」を次のとおり開催いたします。

今回は、昭54卒、平元卒、平11卒が幹事学年となり、「会員の集い」の企画を立案致しました。

会員の皆様多数のご参加をお待ちしております。

なお、参加される方については、出席会費(5,000円)の事前振込みをもって参加申込みとさせていただきます。同封の振込用紙「会員の集い参加申込用」によりお申込みください。

日時 / 平成22年11月6日(土)

午後3時～6時

場所 / 水戸京成ホテル

水戸市三の丸1-4-73

電話 029-226-3111

会費 / 5,000円

幹事学年 /

昭54卒、平元卒、平11卒

<第1部>講演会 午後3時～

講演：交通まちづくりーLRTによる都市再生

講師：宇都宮浄人・日本銀行勤務(昭54卒)

※詳細は2ページ



昨年の会員の集い 学年幹事の引継ぎが行われた

<第2部>懇親会 午後4時～

今回の「会員の集い」は、「再会した旧友の懇談の場」を基本コンセプトとしました。参加者が楽しく会話できることを第一とし、そこに「自由発言タイム」を設けます。高校時代の「集い」のように、ステージ上のマイクを使用し、

持ち時間は一人1分。多くの会員の方の発言を期待します。(当日、発言をする方が事前に申込みできる受付を用意します)

更には、昨年ご紹介した映画「桜田門外の変」の予告編上映を予定しております。(映画は、10月16日に封切予定です)

代議員会議を同日開催

第25回代議員会議を次のとおり開催いたします。この会議は本会の議決機関であり、各学年・地域・職域の代議員多数の出席により審議をお願い致します。

日時 / 平成22年11月6日(土)

午後2時～

場所 / 水戸京成ホテル

議題 / 第59期事業報告

第59期決算報告

会計監査報告

第60期事業計画(案)

第60期予算(案)

その他

会員の集い 平成22年11月6日(土) 於：水戸京成ホテル

第一部 講演会

交通まちづくり

ー LRT による都市再生ー

水戸の街が寂れてしまったと思いませんか？

普段クルマを運転していれば、別段不都合を感じておられないかもしれません。時代の流れだと諦観している方もいらっしゃるでしょう。

しかし、これからの高齢社会を考えると、クルマに頼りすぎる街では暮らしていけません。歩くことが楽しい、ショッピングもできる、みんなが憩える中心市街地を再生していくことが必要でしょう。環境問題を考えても、新しい街のあり方が求められています。

こうした形で街を再生するための方策が、交通まちづくりです。自動車を持つ人も持たない人も、便利な公共交通のネットワー



クがあれば、中心部まで快適に移動でき、そこに本来の賑わいを再生できるのです。そして、老若男女、誰もが快適に移動できる新しい路面電車（L R T : Light Rail Transit）は、人口 20 万人以上の都市であれば、交通の軸となりうるのです。

海外では、L R T が地方都市のまちづくりの切り札となっていて、市民がアイディアを出し合い、

デザインを考えて、それぞれの街のシンボルとしています。決して高価なものではありません。わかりやすさは、観光客にとってもありがたいものです。

水戸市は、そうした交通まちづくりのモデルになり得る都市です。政府もこうした動きを後押ししています。「住んでよし、訪れてよし」のまちづくり。あとは、地元での実践あるのみです。

第二部 懇親会

発言者求む！

今年の懇親会は、「級友（旧友）との語らい」を基本コンセプトとし、その内容も、級友との語らいを中断させることなく、むしろ、より一層盛り上げるような趣向にしたいと考えております。

恒例のアトラクションにつきましても、参加型のものとすべく、「自由発言タイム」と称して、我々平成元年卒の現役当時に行われていた「自由討論」を再現する予定です。ご存じない方のためにご説明しますと、「自由討論」とは、「つどい」と呼ばれる全校集会において、意見のある者が登壇して自分の思うところを自由に発言すると

＜「自由発言タイム」のルール等＞

- 1 発言時間は 1 人 1 分以内（厳守）× 15 名程度
- 2 発言内容の制約は設けません。場に相応しいかどうかの判断は、聴衆が下します。
- 3 発言希望者は、予め懇親会幹事まで①お名前、②卒年、③発言テーマ、④連絡先電話番号を E メール (tsudoikanji2010@yahoo.co.jp) または FAX (029-226-4157) にてお知らせください。希望者多数の場合は、先着順となります。

※当日受付枠もご用意する予定ですが、準備の都合上、なるべく事前にお申し込みをお願いいたします。



9月24日に行われた自由討論

いう、自由な校風の水戸一高らしいイベントです。

「自由討論」がいつから始まったのか、定かではありませんが、現在でも行われているそうなので、一定年齢以上の方は懐かしく感じられるものと思います。

成長した姿を皆さんに報告したい方、現役当時に発言してみたかったけどできなかった方、誰かに話を聞いてもらいたい方等々、動機はともあれ、我こそはという方のご発言をお待ちしております。

講師プロフィール



宇都宮 浄人

昭和54年本校卒業後、昭和59年京都大学経済学部を経て、日本銀行に勤務。主にリサーチの仕事が中心で、『経済統計の活用と論点』といった書物も執筆する傍ら、仕事を離れ、都市交通問題も分析。『路面電車ルネッサンス』は交通図書賞を受賞。最近では、各地の交通まちづくりの支援に取り組み、水戸でも、「高齢者と環境にやさしい交通まちづくりを考える会」で辻説法を繰り返して、新しい路面電車による街の活性化に向けて奮闘中。

新刊紹介

知道会事務局に寄せられた本校出身者・関係者の著作を紹介しています



日本伝統ゲーム大観
大阪商業大学アミューズメント産業研究所 1,500円(税別)
高橋浩徳 著 (昭53卒)

将棋、花札はもちろん蜘蛛や蟋蟀を使った日本古来の遊び(ゲーム)を網羅したデータ集。絶滅の危機に瀕するこれらのゲームを全国各地で取材し、それぞれのゲームの歴史的背景や地域の特徴も描かれている。最近注目されつつある方言やB級グルメなどと相通ずるものがあり、文化人類学的な興味をそそる一冊である。



灯し続けよ！ホテルの燈台
東洋出版 1,500円(税込)
根本邦宏 著 (昭37卒)

昭和46年、水戸市立国田中学校に着任した著者が、生物研究部の顧問として、生徒たちや地域の人たちのホテル復活の活動を見守り続けた一冊。国田中はこの活動によって、昭和50年日本学生科学賞を受賞するとともに、30余年に及ぶ継続した活動により平成18年度にも同賞を受賞した。持続可能な社会や生物多様性が叫ばれる昨今、これからの自然保護を考えさせる好著である。

ミニ歩く会記

OBパワー、暑さを追い払う？ ～土浦市でOB歩く会開催～

「OBミニ歩く会」は7回目を迎え、9月12日(日)、土浦市霞ヶ浦湖畔で開催されました。心配されたほどの猛暑ではなく、参加者総勢73名は霞ヶ浦総合公園に集合し、予科練記念館までの往復6キロを完歩しました。

木村利・親睦委員長(昭36卒)の挨拶に続き、川上清・茨城県ウォーキング協会副会長(昭29卒)による歩き方の指導と準備体操の後、霞ヶ浦沿いの道を歩き始めました。予科練記念館(雄翔館)には300を超える遺影が飾られ、家族参加で来ていた女性は遺書を読んで胸が詰まったそうです。

平成16年の「OBミニ歩く会」(第1回目)では千波湖と逆川緑地、笠原水道を歩きました。第2回目が静神社と古徳沼の「うりづらロマンロード」。



日本第二の湖霞ヶ浦湖畔を歩く

第3回目は好文橋から桜山、偕楽園を経て千波湖を一周。第4回目は雨降る中の笠間芸術の森公園、第5回目が常陸太田市内の歴史探訪、そして今回は桜川市真壁地区の散策でした。第1回目から参加し、現在は企画に携わっている小林圭子さん(昭48卒)は、おしゃべりしながらゆっくり歩けるのが楽しいとのこと。

「ミニ歩く会」を県内各地で開催するに当たっては、開催地の知道会の協力が欠かせません。今回の入念な準備をして下さった土浦水中一高会前会長の友部発夫さん(昭34卒)にとって、「歩く会」は人生の指針のようなもの(70キロを完歩したと思うと苦しいときを乗り越えた)だったそうです。

当日翻っていた「知道」の幟は小林隆夫さん(昭32卒)が、野球の試合に負けて悔し涙を流していた後輩を激励したくて作ったそうです。幟を担いでいた参加者は、「歩く会」には幟がないと盛り上がらないと言っていました。それぞれの「歩く会」に改めて気づかされた「OBミニ歩く会」でした。

EVENTS

4月

- 3日 桜山知道会
- 12日 編集委員会記事懇談会
- 16日 総務委員会
- 18日 みつば知道会
- 21日 32年卒有志同窓会
- 23日 財務委員会

5月

- 10日 中間決算まとめ(財務・監査)
- 15日 笠間知道会
- 16日 正副会長、正副委員長会議
- 22日 45年卒同窓会
- 29日 常陽知道会
幹事会・代議委員会
- 30日 30年卒同窓会
- 31日 親睦委員会

6月

- 3日 知道会ゴルフ大会
- 16日 県庁知道会
- 18日 総務委員会
- 19日 五軒知道会
- 20日 友部知道会
- 27日 常陸大宮市知道会

7月

- 3日 土浦水中一高会
- 10日 岩間知道会
バスケット部・東京飛翔会
- 16日 集い実行委員会
- 24日 鹿行知道会
- 30日 みつば知道会 夏祭り

8月

- 7日 42年卒同窓会
- 18日 広報委員会 編集企画
- 21日 バレーボール部創部70周年
祝賀会／懇親会
- 26日 水戸知道会 代表者会議
- 28日 新荘知道会

9月

- 4日 那珂湊支部行余学会
- 6日 親睦委員会
- 8日 指名委員会
- 12日 親睦委員会：OBミニ歩く会
- 13日 広報委員会 編集作業
- 13日 総務委員会
集い実行委員会

第62回学苑祭を開催

6月26、27日の2日間、今年で第62回となる学苑祭が開催されました。今年で3度目となる6月開催は、9月開催を体験した生徒のいなくなった、いわば新しい時代への一歩をも意味しており、昨年、一昨年の経験をもとに準備を進めました。当日は不安定な天気の中、昨年と同様6千人を超える多くの方々にご来校いただきました。

今年はテーマである「Link with」に沿って、様々な人や物、諸問題とつながりを持って考えることに重点を置くとともに、今後も問題になるであろう地球環境等にも配慮しました。

今回の学苑祭が、多くの方にとって楽しむ場であると同時に、学ぶ場となってくれたらなら嬉しく思います。最後になりますが、今後とも学苑祭へのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

実行委員長 35組 小幡 健吾



卓球部 沖縄総体出場

卓球部は6月に宇都宮市で行われた関東高校卓球大会において団体、ダブルス〔石川優真(36)・藤井善之(32)組〕、シングルス〔藤井〕の3種目に出場した。団体戦は2年ぶり4度目の出場です。初めて初戦突破を果たした。続く、8月の全国高校総体沖縄大会には、シングルスにおいて県予選1位通過の藤井が出場し3回戦進出を果たした。卓球部は、過去5年間に春季関東大会へ4回、秋季関東大会へ1回、全国高校総体へ3回出場している。

テニス部 沖縄総体出場

8月に沖縄県で行われた全国高等学校体育大会男子シングルスに33組の本多健太が出場した。本校では8年ぶりの出場になる。1回戦で愛知県の名経大高蔵高の選手と対戦し、惜しくも2-8で敗退した。暑い中ではあったが、茨城県代表として、精一杯戦うことができた。本人にとっても貴重な経験ができたように思う。後輩もこれに続いて頑張っ

てもらいたい。

棋道部 全国総文祭出場

棋道部は、8月に宮崎県で行われた全国高校総合文化祭に、囲碁部門女子個人戦で、小野晴香(26)が出場した。小野は6試合を行い、2勝することができた。惜しくも入賞には至らなかったが、全国の強豪相手に互角に戦うことができ、よい経験になっただろう。

棋道部は、将棋と囲碁の活動を行っている。最近は、囲碁を主に活動する部員が少ない傾向にあるが、少数精鋭で一丸となって、囲碁の活動を盛り上げていきたい。

書道部 全国総文祭に出品

8月1日(日)から宮崎県宮崎市で開催された第34回全国高校総合文化祭書道部門に書道部の佐々木萌好(22)が参加した。茨城県代表8名の中に内定した昨年10月より約半年かけて全国展用の作品を制作してきた。縦242cm横91cmという大作で、内容は西郷隆盛の漢詩を行草体で創作した。講評会では「言葉を大切に、全体の構成や線質に統一と調和を表現した作品」との評を受けた。大会の交流会は303名の出品者がバスに分乗して宮崎県内を巡るというもので、書道クイズをしたり種田山頭火の短歌を短冊に揮毫したり、西都原考古博物館で勾玉制作をしたりした。全国のレベルや動向を知る貴重な機会を得ることができた。



放送部 全国大会出場

7月に東京渋谷で行われた放送関係の最高峰であるNHK杯全国大会に、放送部3年の鈴木旺が朗読部門で出場した。日頃の発声訓練・滑舌訓練の成果もあり、善戦したものの、惜しくも初戦で敗退した。しかしながら、全国のトップレベルの精鋭が集う中で、貴重な経験を得ることができた。

大会には2年生部員数名も参加し、高い放送技術を見学した。次年度以降は、同大会の各部門で上位進出を果たすべく、目下充実した部活

Let's Talk! ーレッツ トークー

在校生とOBとのコミュニケーションを活発にさせようと今号から新設されたコーナー。特にテーマは設けず、現役で活躍する各界OBと在校生とによるリレー投稿を目指しています。まずは“言いだしっべ”で、茨城大学非常勤講師の宮内寿子氏（昭47卒、知道会広報委員、専攻は西洋倫理学）から、「水戸市は輝いているか」。

動を行っている。

クイズ研究同好会 全国5位入賞

8月上旬に西武ドームで行われた第30回全国高等学校クイズ選手権予選に8チーム24名が参加し、うち横倉萌（31）、白砂大（31）、藤本悠（35）組が茨城県代表として、4年連続全国大会出場を果たした。全国大会では、準決勝進出は叶わなかったものの、各都道府県代表55校中、5位の好成績を残し、日々の活動の成果を示した。

陸上競技部 バトンを繋ぐ

陸上競技部は、10月1日（金）より行われる千葉国体の少年女子B（中3と高1）100mに溝口珠美（15）が出場する。年齢別に編成する400mリレーにも出場する。溝口は、短距離を専門とし、スタート後の加速が力強く、体重を足に乗せてグイグイと疾走し、中盤から他の選手を引き離して走るタイプの選手である。

陸上競技部は国体で2年連続入賞している。リレーの代表で出場するのは今回が初めてであり、様々なプレッシャーがあるが、溝口は最近スタミナがついてきており、国体で活躍が期待される。

山岳部 関東、全国、世界へ

男子団体で平成21年度に引き続き、10月29日～30日に神奈川県箱根での関東高校登山大会に出場する。スポーツライミングでは沼田ほあし（28）が、JFAユース選手権2010で6位、第24回リードジャパンカップ女子総合11位、第13回JOCジュニアオリンピックカップ女子ユースA3位と、全国で上位に入る活躍をしている。9月9日～12日には、英国エジンバラで開催されるIFSC世界ユース選手権エジンバラ大会に日本代表の一人として派遣された。国体においては平成21年度（新潟県）の少年女子総合2位にひきつづき、今年度（千葉県）も県代表選手として、10月2日～4日に行われる国体に出場する。



「文化の水戸」一信さんの夢

今からほぼ4半世紀前、公約に「日本一の文化都市・水戸をめざして」を掲げて水戸市長に当選した故佐川一信さんは、水戸一高OB（昭34卒）である。佐川さんと言えば水戸芸術館（開館は1990年3月21日）の建設で有名であるが、彼がちょうど奮闘していた時期、私は水戸を遠く離れ、不明にも彼の業績や理念に触れる機会が無かった。「いっしん」さんが目指していたものは何だったのだろうと考え始めたのは、佐川文庫で頂いた追悼集『声低く語れ』を読み始めてからである。

佐川さんは市長に当選すると同時に、備前堀の整備や千波湖水の浄化、国田の七ツ洞を自然景観としての公園に造形することなど、水戸市に清らかな水と豊かな緑と肥沃な土を回復する事業に着手する。そして、読書文化の形成のために計画したのが図書館の充実であり、水戸市立西部図書館はその成果である。西部図書館は緑と回廊に囲まれて、静謐な空間を現出させている。この図書館の建築者新居千秋さんが、議会の反対に対し佐川さんが語った言葉を追悼集に記している。水道や他の公共施設が先ではないかという質問に佐川さんは「水道をひねっても文化は出てこない。水戸市は下水道の整備も



宮内 寿子 氏



千波湖から水戸市街を望む

行うが、文化の整備も行う」と言い切った。「いっしん」さんにとって文化とは、単なるお題目ではなく、生きることそのものの在りようだったと思う。（出雲市長や衆議院議員を務めた）岩國哲人さんは佐川さんを評して「地方の文化を守る『地方文庫』（岩國さんの造語）を視野の中にしっかりと持っておられた」と言う。

2009年11月の芸術館での水戸室内管弦楽団第78回定期演奏会では、小澤征爾が指揮棒を振った。小澤の演奏会は切符が取れないと言われていたが、たまたま2階席を手に入れることができた。小柄なマエストロの指先に表情に楽団員は安心して自らを委ね、音楽を奏でることを喜び楽しんでた。そしてそれはホール全体に波及してゆき、聴衆全体が静かに熱く音楽に満たされてゆく至福の時であった。

世界遺産の街オーストリアのグラーツは、時代ごとに最高と思うものを創り遺してきた。それは常に特別のものでありたいという意思の表れだと言う。水戸もまたそうであって欲しい。佐川一信という人は理想を掲げてそれを実現することに苦闘し、余りにも早く駆け抜けて行ってしまった。芸術館の建築家磯崎新さんの痛切な思いに私も同感する。「誰かが必ず、あなたの志を継ぐだろう。私はそれを信じたい。あなたはそれに値するものを残しているのだから」。高校生の皆さんにとって、水戸はどのような街なのだろうか。

バレーボール部創部70周年記念行事

去る8月21日（土）に、バレーボール部創部70周年の記念行事を行いました。記念行事は、水戸一高体育館での記念試合、三の丸ホテルでの祝賀会、大工町・割烹魚政での懇親会の3部構成としました。記念試合では現役部員や今年度発足した女子部員を相手に、10代から50代までの約40名のOBとの交流戦を行いました。祝賀会では、故白井實初代OB会長（昭23卒）の令夫人美代子様や前校長で部の顧問も務められた五味田優先生（昭42卒）のご臨席を仰ぎ、はじめに全員で鬼籍には入られた先生、先輩方に黙祷を捧げました。

平山晴雄OB会長（昭40卒）の挨拶に続き、西野虎之介前知道会長（昭23卒）から戦中戦後のバレーボール部の活動についてのお話を、男子部顧問の鈴木圭輔先生（平5卒）から現役の近況を、女子部顧問の森主計先生から女子部発足に至る経緯をお話いただきました。現役部員による自己紹介の後、小林元前参議院議員（昭26卒）による乾杯、ゴルフを通じてOB同士の交流がある仙台一高バレーボール部OBの吉野様からご祝辞をいただきました。

歓談ののち渡辺満雄君（昭57卒）指揮による校歌斉唱、榊牧人在京OB会長（昭54卒）による締めの挨拶で80名の出席をみた祝賀会を閉じました。続く懇親会には50名が出席し、田中功前OB会副会長（昭29卒）の挨拶、野上欣也さん（昭29卒）による乾杯で会は和やかに始まりました。なつかしい面々との歓談は2時間半にもわたり、郡司一也君（昭58卒）による校歌斉唱、奥村勝彦さん（昭32卒）による三本締めで散会となりました。

バレーボール部OB会は、過去に創部50年史（白井實会長）、60年史（平出庸夫会長）を発刊しています。今回も記念行事の締めくくりとして平山会長の下70年史の刊行を予定しています。これからもこうした活動を通して、現役部員を支援していきたいと考えております。

（昭56卒 近重正大）



東海村知道会総会

平成22年度東海村知道会（鈴木正治会長、会員数112名）定期総会が、去る8月6日村内のひたちなか農協東海会館で23名の方々が参加して盛大に開催された。当日は、ご多忙にもかかわらず知道会本部の北條勝彦事務局長及び村上達也東海村長（昭35卒）も出席されました。有難うございました。

総会は開会の後、北條知道会事務局長の知道会現況を含めた挨拶、村上村長の近況報告等挨拶があり、続いて役員改選になり新しく舩井正義会長（昭32卒）等の役員が3年任期で選ばれた。又事務局から今年10月9日（土）～10日（日）に実施の第62回歩く会（東海コース）の予定・協力概況、父兄との連絡状況等も報告された。

引き続いて元会長の照沼信邦さん（昭19中卒）の乾杯の音頭で懇親会に入り、昭19中卒～平18卒までの同窓生が、同級生から同年代へと時が経つのも忘れるほど学生時代の話題に広がりを見せるなど、懇親会は大いに盛り上がりを見せた。

（本田報告）



恒例化した同期会・継続は力なり

黄門祭りで賑わっていた8月7日の夕刻、今では夏の恒例となりました42年卒の同期会を水戸三の丸ホテルにて開催いたしました。

遡れば平成9年に卒業30周年記念同期会が開催され140名が集いました。それから3年後有志にて毎年開催しようとの機運が盛り上がり、平

成12年より毎年開催するようになりました。最初のころは30数名の参加でしたが、35周年記念同期会を機に各クラス（自称）幹事が毎月第3水曜日に大工町『居酒屋みのる』に集うようになり、東京地区ではそれより先に【ぞろ目会】と称し、毎月ゾロ目の日に飲み会を催していました。このようにして同期のネットワークが広がり、恒例化し最盛期の半分ではありますが、毎回70名前後の同期が集うようになりました。

最初のころの挨拶は『久しぶり』、『どうもどうも』と名前と顔が一致しない状況での会話が多かったが、会を重ねるごとに各クラスとも和気あいあいの集まりとなってきました。卒業以来初めて参加した人、10数年ぶりに参加した人、このように徐々にではありますが、新たな参加者が増えてきております。同期会は皆が主役、皆が世話人、輪番制で司会運営と全員参加型で会を盛り上げています。宴会翌日は2日酔いにも負けずに懇親ゴルフ、この会も15年余の恒例となっており、12名の参加でした。残念なのは仲間数人が鬼籍に入ってしまったことです。お盆月に例会を催し、仲間で彼らの冥福を祈り、彼らを偲びたいと思います。会の最後に継続して毎年8月に開催するかどうかの賛否を問いましたところ大多数の賛成を得ました。次回は45周年記念同期会その5年後は50周年と続きます。

（文：37組鈴木正喜）

みつば知道会

（水戸市西部地区、

双葉台・上中妻・山根学区）

第29回ゴルフコンペ

今年で15年目を迎えたコンペは炎天下の7月26日（月）に水戸レイクスで行われた。今年はどういうものか雨にたたられて4月、6月と2回も延期せざるをえず三度目の正直の7月のプレーとなった。

それでも飯村喜明会長（昭9卒）はじめ、ゴルフは70歳台より始めたという31年卒の門井さん、女性陣からは古平夫人、菅夫人も参加してくれて16名でのにぎやかなコンペとなった。

門井さんは、練習場でレッスンプ

口の指導をみっちりうけてきたとの言葉どおりの、しっかりした基本のできたフォームとゴルフに対する姿勢に会員一同が大いに勇気づけられ、これから先もゴルフを楽しむ示唆を、中高年のわたしたちに与えてくれた。

優勝は古希を迎えた双葉台在住の長山真理雄さん（昭34卒）。持ち前の長打を遺憾なく発揮しての41・39トータル80、ネット71.6の見事な成績であった。次回は11月12日の予定ですが30回の節目でもあり、なお一層にぎやかなコンペにしたいとエントリーを誓って表彰式を終えた。

第15回《納涼会》

今年も副会長でもある高木整形外科のサッカー場を借りての納涼会。好天の8月1日（日）に行われた。

総合司会は古平恒夫さん（昭37卒）。納涼会を盛り上げてくれるバンドのシャイニングスターズ。最近とみに人気上昇中のハワイアンフラダンスのこまき恵チームの紹介は会員でもある知道会事務局長の北條さん。フラダンスチームの20数名は粒ぞろい。若く美しい女性ばかりで会員から大きな「拍手」をうけた。また会員も大勢がダンスに加わり、ライトアップされた会場は大いに盛り上がった。

今年も天候不順で、日程の変更を余儀なくされたりもしたが、40数名が参加していただいた。当日の昼頃

より買出しに行ってくれるなど、いろいろと会の裏方をつとめてくれた方たちのお陰でもある。多数の方々からも温かいところざしのお祝い品をいただき、あらためてこの紙面をお借りして御礼を申しあげます。

昭34卒 堀江 効

卒業55周年記念同窓会 昭和30年卒業生

去る5月22日、三の丸ホテルに86名が参席、学年同窓会を盛大に催すことができた。旧交を温めながら二次会へ21名、三次会へ19名が集い、去り難い夜のひと時を過ごした。

まず細谷敬同窓会新会長の挨拶後、東京一水会稲葉正臣会長の挨拶と乾杯。幹事よりご健在の恩師大和田健児先生（98歳）・橋本一郎先生（96歳）・高畑弘先生（86歳）のご様子をお伝えした。会場内は瞬時に拍手が湧き上がり、各自が三恩師の年齢まであやかりたいと杯を傾け賑やかな開会となった。

座席は、クラスごと8つのテーブルに集まり、スナップ写真を撮り合う等55年ぶりの再会に酔いしれていた。

中締めめに、応援団副団長小森浩二氏が登壇、55年前の甲子園出場当時の話題となり、水戸一高対中京商業の対戦が、開会式直後であったこと。食糧難から宿泊中の食事は米を持参、夜行を乗り継ぎ甲子園に着くや否やマイクで水戸一高の応援団代

表がバックネット裏に呼び出されたこと。そこには地元の猛者多数に水戸一高3名が囲まれ、応援団同志が交わす挨拶についての打ち合せとなったことなど。緊張しきったその裏話はあたかも同時にタイムスリップし、実況さながらの報告で会場が一気に若返ってしまった。

今回写真の部は、金沢一典氏が担当した。彼は、5年前の同窓会と今回の同窓会写真を含め、205枚のアルバムを何と一枚のDVDに収録した。5年前の懐かしい顔には、甲子園投手橋本政雄が、司会をした高橋四郎が、箏球部の木村伝兵衛が同席して居り他界した同窓生が蘇ってきた。今回の参加者には、写真集と機関誌6号が配布され、終了後も沢山の感動の便りが届いた。全員の協力で会が無事乗り切ることができたことを幹事一同感謝し、次回は3年後、喜寿に向け全員が健康で再会できるよう祈念し、会を閉じた。

園部昌美



上海通信

上海・茨城直行便で帰省

茨城県上海事務所

川又敏郎(昭49卒)

私の上海勤務も早いもので1年半が経過しました。その間、2・3カ月に一度は帰省しておりますが、それにしても着任当時は格安航空会社（LCC）の直行便で茨城に帰省することができるとは思いもしませんでした。

7月末から上海の春秋航空チャーター便が、茨城空港を使って上海との間を行き来しています。また、春秋航空は8月末に片道4,000円からという激安価格の航空券をネット限定で売り出し始めたところです。4,000円チケットの最初の販売分は

19分で売り切れたという話題もあり皆様の耳にも留められているのではないのでしょうか。私もネット申し込みで4,000円ではありませんが格安航空券を購入しました。

中国の海外旅行市場は、1990年代に入ってから急速に大きくなりました。1998年から2008年までの10年間で、海外旅行をする中国人が843万人から4,583万人と5倍以上になっています。中国本土の観光客に最も人気のある海外旅行目的地は香港ですが、タイのプーケット、インドネシアのバリ島などのリゾート地や日本も人気があります。

日本については、中国で大ヒットした2008年の正月映画「非誠勿擾（邦題：狙った恋の落とし方）」の波及効果で、ロケ地の北海道や日本に憧れる人が増えたことや、近距離海

外旅行ブームなどの追い風がありました。加えて、日本政府が中国人の個人観光ビザの発給要件を緩和した効果が出ています。これらにより、2009年に日本を訪れた中国人観光客は約100万人だったものが、今年は180万人に達するとの予測があります。羽田、成田に次ぐ首都圏の空港として造られた茨城空港、そして新たに開かれた中国航路に新たな茨城の展開を期待しています。



総務委員会

☆第11回（平成22年度）「会員の集い」開催に向けての準備

4月、6月、7月と3回「会員の集い」実行委員会を開催しました。担当学年（昭54卒、平元卒、平11卒）及び総務委員で会員の皆様が楽しく歓談できる場になるよう企画を検討してまいりました。

講演会の講師選定は昭和54年卒、「集い」の運営・進行は平成元年卒、受付は平成11年卒と各担当学年が担当致します。

今回の参加人数目標は300名以上ですので、たくさんの会員の皆様のご参加をお待ち致しております。特に、今年の担当学年と次回（来年）の担当学年昭和55年卒、平成2年卒、平成12年卒の皆様は、ぜひ大挙してご参加下さい。

☆総務委員会の今年度の検討課題

・会則の検討

会則第5条（6）の幹事及び第13条の各委員会の委員の指名方法と人数がどうあるべきか検討を致しております。

・知道会員同士のネットワーク構築の手助けになる事業を検討しています。例えば、卒業後20才（成人）なった時点での成人式おめでどうプロジェクトなどにより、先輩とのネットワーク構築を図る。など…

☆那珂湊の行餘學會総会に参加した感想

総会、全盲の医師「大里晃弘」先生（昭48卒）の講演会そして懇親会と行餘學會

会員の皆様の母校水戸中学、水戸一高に対する熱い想いに触れさせていただきました。

知道会の活動とは、学年、地域そして職域の各知道会

の活動が盛んになることでもあるとあらためて考えさせられました。

（総務委員長 粉川 勝）

名簿委員会

名簿の編集が始まりました。会員の新たな消息などお知らせ下さい。個人情報についても対応する体制で望んでいます。何かとご相談下さい。

親睦委員会

●第29回ゴルフ大会

去る6月3日（木）に、恒例の大洗ゴルフ倶楽部で第29回目の親睦ゴルフ大会が開催されました。今回は参加者が65人と若干低調でしたが、天候に恵まれ会員の親睦もより一層深まりました。また、粉川総務委員長（昭42卒）のお計らいで、スタートホールの様子を写真に収めていただき、懇親会で配布することができ、大変好評でした。次回は土曜日開催ですので、特に若い人の参加をお待ちしております。

●第7回OBミニ歩く会

筑波山の麓、霞ヶ浦湖岸を散策する往復6kmのコースで9月12日（日）第7回OBミニ歩く会が開催されました。今回は土浦水中一高会の全面的支援のもと、75名（本部役員含む）の参加を得、盛況のもと無事終了することができました。これもひとえに土浦水中一高会のご支援の賜物と、紙面をお借りして感謝する次第です。次回は、大洗・那珂湊方面を予定しております。ご家族の参加も可能ですので、多数の参加をお待ちしております。

物 故 者 (H21.9～22.5)

旧職員	海野武雄	昭16	小松崎 健	昭23	寛 誠	昭29	大内徹也
旧職員	折原 徹	昭17	大島輝也	昭23	黒川治重	昭29	山本元孝
旧職員	西野義雄	昭17	上牧健二	昭24	品川正利	昭30	三代和夫
大15	折原 徹	昭17	小林一彦	昭24	大畠 勤	昭30	佐藤正一
昭 5	平山 俣	昭17	竹内成一	昭25	植田好政	昭31	安嶋正武
昭 5	福田宣清	昭17	丸山泰一	昭25	牧野弘和	昭31	藤本顕正
昭 7	遠藤(江幡)正則	昭18	鈴木章友	昭25	西宮一男	昭31	小澤昌弘
昭 7	北村(山本)信正	昭18	早乙女耕一	昭26	石川 彰	昭31	鈴木重次
昭 8	宇留野正三	昭18	石川克夫	昭26	塩沢 保	昭32	新堀 喬
昭 9	秋山 邦	昭18	益子美治郎	昭26	大曾根 博	昭33	山名剛一
昭 9	大場万徳	昭19	荒井 汪	昭27	安藤太一郎	昭35	島 定観
昭10	方波見常彦	昭19	今瀬正司	昭27	小林巖夫	昭36	長瀬(斎藤)明子
昭13	小川敏雄	昭20	田上賢之介	昭27	原田 仁	昭36	井坂 栄
昭13	小松 寛	昭20	矢萩啓三	昭27	栗田良平	昭37	目黒嗣典
昭14	来栖武雄	昭20	朝倉 宏	昭27	関根謙吉	昭41	安田耿雄
昭14	柴 忠久	昭20	平沢 和	昭28	河上 洋	昭43	関澤正明
昭14	田中好一郎	昭22	中村(内海)勇	昭28	岡口 孜	昭44	川崎千尋
昭14	大沢周平	昭22	江幡 哲	昭28	石川利一	昭45	尾花節子
昭15	所 信男	昭23	大畠 勤	昭29	小林信松	昭52	上田 勝

【編集後記】

編集委員としてOBミニ歩く会に参加し、学年を超えて何人かの方と話すことが出来ました。皆さん快く、いろいろな思いを語って下さいました。編集委員の役得です。今回の号は「水

戸」の街のあり方に焦点が当たっています。皆さんからのご意見をお待ちしています。また編集に参加して下さい（特に女性の）方、こちらもお待ちしています。（M）